

如月合高報告書

443-1988-03
 2月6-7日
 秩父笠取山(1941m)
 ニシタ 藤田 三ツ井 杉沢
 下へ 田中 山田 三ツ井 田中

登山
 登りきり

頂上からの富士
 は雄大で美しい

◆奥秩父・笠取山

▽2月6〜7日▽静岡・三島勤労者山岳会II森田治孝七三、毛利哲也(五三)、岡崎睦子(四四)、山田茂(四三)、後藤隆徳



雁峠に勢ぞろいの三島労山パーティー

(四〇)、杉沢康秀(三六)、田中裕吉(三七)、藤巻郁雄(三三)、矢部幸雄(三六)、長岡浩一(三〇)、相沢恵(三〇)、渡辺昭二(三〇)、岡田進一(四四)
 6日、車で先発。中発、後発と分かれて出発し、9時半東沢山荘下の駐車場に張られたテントへ全員集合。
 新人とベテランで内容のある充実した山行が目的。その成功を願ひ乾杯。大いに交流し、最後は「三島労山の歌」を全員で合唱し、就寝。

7日、豚汁風雑煮の朝食のあと、5時に車で広川のゲートへ向かう。満天の星。林道を歩きだす。氷が張って歩いてく。やがて美しい夜明けを迎える。なかなかの急登だ。73歳のMさんもがんばる。林道を離れ、そま道へ入る。このあたりはミズナラとカラマツの疎林となっている。

雁峠は美しいところだ。低いクマザサの多い草原にコマツガが適当に配置されている。自然の妙というべきか。眼前には真っ青な空をバックに笠取山(一九五三m)がそびえている。雪は少ない。振り返ると乾徳山、黒金山、国師岳が…。気温はマイナス7度くらい。

少し登ると尾根の向こうに富士山が見えた。道は左手に雁峠山荘を見ながら、カラマツ林のなかをゆく。その先で二分され、右は笠取小屋、左は山頂へ向かう。やがて山頂への快い急登が待っていた。少し凍っており、注意が必要だ。9時半、手前の西側のピークへ。しかし標識はない。少し低い東側のピークへ登ると小さなプレートがあった。風もなく、陽光が降りそそぐおだやかな頂上だ。富士が雄大で美しい。

記念写真を撮って下山。東沢山荘のふもで汗を流し、反省会をおこなう。三島へ向かう。(後藤隆徳)